

令和８年度第１回東温市地域公共交通活性化協議会（東温市地域公共交通会議）
次 第

日時：令和８年６月２６日（金）
１０時００分～

場所：東温市役所 ４階 大会議室

１．開会

２．あいさつ

３．協議・報告事項

- （１）令和７年度事業報告について
- （２）東温市地域公共交通計画の評価等結果報告について
- （３）地域内フィーダー系統確保維持に係る地域公共交通計画について
- （４）令和７年度歳入歳出決算報告について
- （５）東温市地域公共交通利便増進実施計画策定業務プロポーザル実施結果
について
- （６）地域公共交通利便増進実施計画検討分科会の設置及び分科会設置規程
（案）について

４．閉会

<事前送付資料>

- 【資料１】令和７年度事業報告
- 【資料２】地域公共交通計画の評価等結果について
- 【資料３】地域内フィーダー系統確保維持に係る地域公共交通計画
- 【資料４】令和７年度東温市地域公共交通活性化協議会 歳入歳出決算
- 【資料５】東温市地域公共交通利便増進実施計画策定業務プロポーザル実施結果について
- 【資料６】地域公共交通利便増進実施計画検討分科会の設置について（案）
- 【資料７】東温市地域公共交通利便増進実施計画検討分科会設置規程（案）

東温市地域公共交通活性化協議会(東温市地域公共交通会議)委員名簿

	団体	役職	委 員	備考
1	東温市	副市長	内田 万美	
2	株式会社伊予鉄グループ	取締役	竹中 由紀夫	代理:中川 智之
3	東温市タクシー連絡協議会	会長	和田 宏一	
4	愛媛県バス協会	専務理事	松本 真一	
5	愛媛県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	谷口 政賀津	欠席
6	国土交通省松山河川国道事務所	計画課長	森 貴洋	欠席
7	愛媛県中予地方局	建設企画課長	板橋 弘和	
8	東温市産業建設部	地域活力創出課長	大森 泰	
9	東温市区長会	会長	池川 良徳	
10	東温市老人クラブ連合会	会長	河内 哲一	欠席
11	東温市婦人会	会長	萩原 貴美子	欠席
12	東温市PTA連合会	会計理事	松本 司	欠席
13	東温市社会福祉協議会	会長	菅野 邦彦	
14	市民の代表(公募)		渡部 元衛	
15	市民の代表(公募)		横手 裕子	
16	松山南警察署	交通課長	武村 彰剛	欠席
17	伊予鉄道労働組合	副執行委員長	埴田 良太郎	
18	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (総務・企画担当)	齊藤 信一郎	
19	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当)	山本 悟史	欠席
20	愛媛県	中予地方局 地域政策課長	藤原 美千代	

【アドバイザー】香川高等専門学校	教授	宮崎 耕輔	欠席
------------------	----	-------	----

令和 8 年度第 1 回東温市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時： 令和 8 年 6 月 2 6 日 10:00～12:00

会 場： 東温市役所 4 階 大会議室

1. 開会

進 行： ただいまより、令和 8 年度第 1 回東温市地域公共交通活性化協議会を開会する。

2. あいさつ

会 長： <挨拶>

3. 協議・報告事項

(1) 令和 7 年度事業報告について

事 務 局： <説明【資料 1】>

会 長： ただいまの説明について、ご意見等ないか。

会 長： 意見等ないようである。次の議題へ移る。

(2) 東温市地域公共交通計画の評価等結果報告について

事 務 局： <説明【資料 2】>

会 長： ただいまの説明について、ご意見等ないか。

横 手： 目標の地域検討組織の立ち上げ数について、地域への声かけは行ったものの立ち上げには至らなかったとあるが、どのように声かけを行ったか教えていただきたい。

事 務 局： 昨年度、第 2 次東温市地域公共交通計画の策定のため、地域で意見交換会を開催した際に、意見交換会の中で出た意見等を踏まえ、地域での組織として、検討していけないかという話をさせていただいた。

横 手： 1 回だけか。

事務局： そうである。

横手： 今後再編をしていく上で、1 回だけではなく、コミュニケーションを取って進めた方が話もしやすくなると考えている。

6 月 19 日に滑川へ行き、滑川区長と話したが、再編内容について何も知らないと感じた。まだ外には出せない情報もあると思うが、少しずつ情報共有をした方が、地元も心づもりができ、要望も出てくると思う。組織の立ち上げには至らない中でも、もう少し地元とコミュニケーションを取りながら、事前に情報共有を行っていくと良いと思う。

渡部： 地域の方から、公共交通の利用に困っているという声が届いており、公共交通の再編を行っていることをお伝えしているが、先ほど横手委員が仰った情報共有が大事であると思っている。地域での困りごとについては、個人で対応することが難しいため、区長を中心に地域で考えることが一番である。

また、次年度に向けた課題等についてのフィードバックがなければ、地域の考え方と協議会の考え方にずれが生じてしまうため、個人が考えるのではなく、地域の意見を吸い上げるような組織立てが必要と考えている。

事務局： 昨年度、計画策定を行うに当たり、アンケートや、市内 9 地区での意見交換会を行ったことから、今年度は昨年度からの流れを汲みつつ、例えば、乗合タクシーのルートや料金をどうするか、停留所をどこにするか等の具体的な内容に取り組んでいきたいと考えている。そのため、今年度も地元との意見交換は活発に行いたいと考えている。

横手： 乗合タクシーに移行することについても、地元それぞれの考えがあると感じたので、少しずつでも情報共有は行った方が良いと思う。いきなり乗合タクシーへ移行するという話で進めることはないとは思いますが、まずは情報を共有していくと良いと思う。

事務局： 今の計画については、あくまで構想段階である。昨年度、地元からも様々な意見が出ているため、それを踏まえた対応を考えていきたい。

会長： 他に意見等ないようである。国への報告が義務づけられていることから、この内容で報告してよいか承認をいただけるか。

各委員： 《承認》

会 長： それでは、資料のとおり計画の評価を報告する。

（３）地域内フィーダー系統確保維持に係る地域公共交通計画について

事 務 局： <説明【資料３】>

会 長： 先ほどの事務局からの説明に対し、ご意見等ないか。

渡 部： ３の目標達成のために行う事業について、自治会等への積極的な情報発信を実施することにより、利用促進を図るということであるが、フィーダー補助金の対象路線である河之内線沿線の自治会に行うと考えたので良いか。

事 務 局： この計画は、河之内線を対象にしているものであるが、広報誌等への掲載回数について、第２次東温市地域公共交通計画でも目標としており、河之内線沿線の自治会の他にも、市内の全ての自治会へ利用促進の情報発信を行う予定である。

渡 部： 河之内線の利用促進について、市内全体への発信をしていくということで良いか。

事 務 局： そうである。

会 長： 他に意見等ないようである。それでは、事務局案のとおり計画を国へ申請することについて、ご承認いただけるか。

各 委 員： <承認>

会 長： ご賛同が得られたため、資料のとおり申請する。

（４）令和７年度歳入歳出決算報告について

事 務 局： <説明【資料４】>

会 長： 続いて、監査結果の報告を渡部委員よりお願いする。

渡 部： 令和８年６月２２日に萩原監査委員と共に、令和７年度東温市地域公共交通活性化協議会の会計について、監査を実施した。適正に処理されていたことを報告する。

会 長： それでは、先ほどの決算報告について、ご質問等ないか。

会 長： ないようなので、決算報告についてご承認いただけるか。

各 委 員： ≪承認≫

会 長： ご承認いただけたので、以上で令和 7 年度歳入歳出決算報告を終了する。

（５）東温市地域公共交通利便増進実施計画策定業務プロポーザル実施結果について

事 務 局： <説明【資料 5】>

会 長： ただいまの説明について、ご意見等ないか。

会 長： それでは、今年度、株式会社バイタルリードと利便増進実施計画を策定するという報告とさせていただきます。

（６）地域公共交通利便増進実施計画検討分科会の設置及び分科会設置規程（案）について

事 務 局： <説明【資料 6】、【資料 7】>

会 長： 事務局説明の内容等について、質問やご意見等ないか。

会 長： それでは、分科会設置規程についてご承認いただけるか。

各 委 員： ≪承認≫

会 長： ご承認いただいたので、改めて第 3 条の規定により、委員の指名をさせていただきます。

会 長：	伊予鉄バス株式会社	竹中委員
	東温市タクシー連絡協議会	和田委員
	公募委員	渡部委員
	公募委員	横手委員
	東温市地域活力創出課	大森委員
	以上 5 名を分科会委員に指名する。	

会 長： 以上で、全体の議案は終了となるが、会を通しての質問やご意見等ないか。

横 手： 最近、東温市は風穴が登録記念物に登録されたり、白猪の滝も国の名勝に指定されることとなっている。先ほど説明のあった河之内線の目的地には白猪の滝があり、車以外で観光に来る方は、バスやタクシーを利用されると思うので、滝へ行くためには、必要な路線になってくると思われる。

また、滑川も過疎化が進み、大変ではあるが、人気の景勝地であるため、観光面も手を入れていただければ良いと思っている。

久万高原町では、市街地から土小屋までの石鎚山へ向かう乗合タクシーが7月1日から開始される予定である。一方で、東温市の皿ヶ嶺は、NHKで紹介されたり、長野県や広島県からバスが来ているのを見かけたり、県外ナンバーの車も多く、人気があるものの公共交通がない。こういった観光面の公共交通に目を向けると、更に街が発展していけると感じている。

渡 部： 今年度の市内6地域での住民意見交換会で、住民の意見を聞き、それを100%反映するのは難しいと思うが、そのような意見交換の機会を増やしていただきたいと考えている。

また、先ほど横手委員の意見にもあったように、周辺の市町を見ると公共交通について、進んできているように拝見しており、高齢化も進んでいくので、他の市町も参考に、利用しやすい公共交通を目指すため、私自身も委員として考えていきたいと思っている。

中 川： 私はバスの運行に携わって十数年になり、地域公共交通会議には、東温市以外の地域にも参加をしているが、東温市は職員や地域の皆様が実情をよく分かった上で、どういったものが最適なのかを、よく理解して検討されていると感じている。

正直、運行事業者としては、人口減少が進んでいる地域に、バスを維持していくことが難しい場合があり、その点をご理解いただけないと、最終的に理想的な地域に合った公共交通への再編が難しいと考えている。実際に地域の中に多くの住民の方がいて、移動の需要があるのであれば、バスの形態を維持して観光の利用者も一緒に乗っていただくことで、路線の維持を図る方針が取れるが、場所によってはバスでの維持は難しい局面に来ているとも思う。

また、乗合タクシーについては、昔は乗り合いを作っていくことが非常に難しかったが、IT等の技術が進展してきており、個人のスマートフォンや、WEB、インターネット等を上手に活用すれば乗り合いを作りやすい環境ができてきている。それらを活用して乗合タクシーも運行しつつ、一定の移動需要があるところについては、乗降人員が多いバスを維持するなど、上手く組み合わせながら、公共交通を作り上げていけるよう、協力しながらやっていきたい。

会 長： 本日の協議報告事項等はすべて終了したので、司会進行を事務局に返す。

4. 閉会

進 行： それでは、以上で本会議を閉会する。